

将来像

みんなが しあわせを かんじるまち ※Well-being

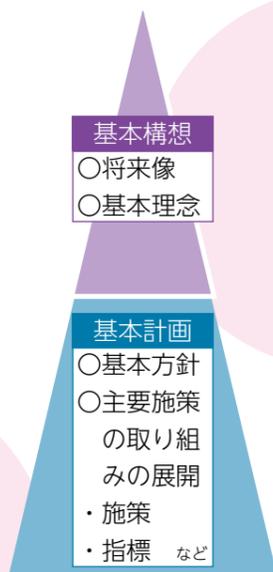
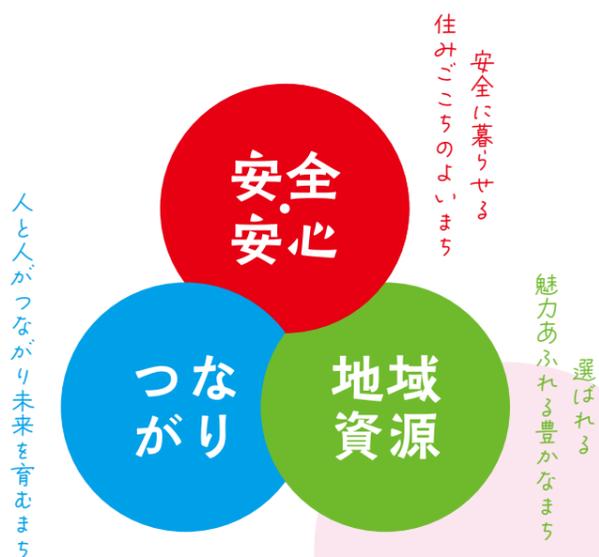
※いきいきと充実した人生を送るため、健康で幸福な状態であること

庄内町に長く住み続けている人も、新たに暮らし始めた人も、長い人生を歩んできた人も若い世代も、みんなが本町の豊かな自然や文化、歴史などの恵みに支えられ、育まれています。

安全・安心を基盤に、人と人とのつながりを深めることで地域力を高め、豊かな地域資源を活かしながら、一人ひとりが幸せを実感できるまちを目指していきます。

基本理念

計画の構成・期間



総合計画は、本町が目指すべきまちづくりの指針として、将来あるべきまちの姿や目標などを示した「基本構想」、基本構想に掲げる将来像を実現するため、各分野において取り組んでいく施策の方向性と具体的な内容を示した「基本計画」により構成されます。令和8年度から10年を計画期間としますが、基本計画は前期と後期に分け、前期が終了する中間地点で見直しを行います。

施策の柱

- ①共に支え合い安心して暮らせるまちづくり
自助・共助・公助の連携による防災力の向上
安全な暮らしと保健・医療体制の充実
誰もが安心して支え合える共生社会の実現
- ②未来を担う子どもたちを育むまちづくり
地域全体で支える子育て支援環境の強化
全世代が学び合い思いやる意識の醸成
文化芸術に親しみ郷土愛を育む教育の推進
- ③地域の活力を生むまちづくり
米づくりを核とした「食のまち」の推進
企業誘致と起業支援による経済の活性化
観光資源の磨き上げと交流人口の拡大
- ④住みやすく安全で快適なまちづくり
住みやすく安全で快適なまちづくり
豊かな自然環境の維持・保全
憩いの場を創出する快適な住環境づくり

- ⑤持続可能な協働のまちづくり
地域貢献と若者定住を促すコミュニティ形成
デジタル化推進と行政DXによる利便性向上
協働のまちづくりと持続可能な行財政改革



「みんなが創る 米の都」
第3次庄内町総合計画を
策定しました！

令和7年度に第2次庄内町総合計画後期計画の最終年度を迎えました。社会情勢の変化や本町の現状を踏まえて、第3次庄内町総合計画を策定しましたので、その概要をお知らせします。

■問合せ：企画情報課企画調整係 ☎0234-43-0802



計画の策定の趣旨

「米とともに、人とともに。」

庄内町は、名のある美味しいお米のルーツ「亀ノ尾」の発祥の地であり、米づくりを中心として発展してきました。また、米づくりを通じて人々が助け合い、支え合う「結」の精神が受け継がれてきました。

本計画の策定にあたって定めた基本理念「安全・安心」「つながり」「地域資源」は米づくりの歴史とともに育まれてきたものであり、このまちに暮らす人が互いに手を取り合っただけで歩みを進めていくという前向きな想いを込めました。

この計画は、町民一人ひとりが主役となって庄内町の将来を見据え、実り多いまちになるよう、これから進むべき方向性を示し、共通目標とするため策定するものです。

人口の推計

人口が減少していくことは避けがたい未来ですが、減少をいかに食い止めるかは、重要な町の目標です。国立社会保障・人口問題研究所推計人口の推計値である令和17年の人口総数15,069人を上回ることを目指していきます。

(参考：令和8年1月現在住民基本台帳人口 18,700人)

第3次庄内町総合計画の策定にあたり、たくさんのご意見をいただきました

しょうない希望ミーティング

町の魅力を活かしたまちづくりや目指す町の姿やその実現のための方策などについて活発な意見交換が行われ、様々な提案をいただきました。



アンケート調査

新しいまちづくりを進めるための指針となる第3次庄内町総合計画の策定にあたり、参考資料として活用しました。

- 【町民アンケート】
- 対象：20歳以上の町内在住者
- 有効回収数：741件
- 【中学生アンケート】
- 対象：庄内町在住の中学1年生～3年生
- 有効回収数：341件

とおるくんの学校へいこう

令和5年度から7年度にかけ、町長が町内の小中学校を訪問し、児童や生徒たちの声を直接聞き、町の未来を一緒になって考えました。

